

2021年12月期第2四半期決算説明会 質疑応答

(回答者：西森社長)

【インド子会社について】

Q：コロナで見通すことは難しいと思うが、インド子会社はいつ頃回復の見込みと
思っているか？

A：期初に予想を立てた際は、市況データなどからインド経済が回復する見込みで想定していた。しかし、4月5月にインドでのコロナ感染状況が再拡大したあたりから不透明感が強まった。競争環境も厳しくなっており、どれぐらいで回復するか不透明ではあるが、インド国内のIT投資動向調査データによれば年8%程度の成長となっているが、インド子会社の主ビジネスであるハードウェア販売（薄利）は低成長の見込み。何らかの転換を図れば回復の可能性はあるとみている。転換までには、1年～1年半ぐらいはかかると思われ、その間は大きな回復は難しいのではないかと見込んでいる。

【新市場区分について】

Q：プライム市場の適合状況は？

A：東証より適合の通知は受領。取締役会で検討を進めているが、プライム市場へ申請する方向で検討している。

【CRO子会社の売却について】

Q：売却で得た資金の用途は？

A：現時点で具体的にお話できることはないが、基本的にはIT事業の成長に使っていく予定。お話できる段階になったら、説明していきたい。

Q：配当は据え置きになっているが、株主還元方針は？

A：強化していく姿勢に変わりはないが、今回は中長期的なグループ成長のために使っていくので、配当は据え置きとさせていただいた。

Q：CRO子会社売却にあたっては売る側であったわけだが、買う場合のM&A戦略を進化させられるような学びがあったのではないか？

A：デューデリジェンスをきっちり行う、また、それに向けて体制を強化していくことが必要と認識している。経験から学ぶことは多々あったが、当社だけでは足りない部分は当然あり、有識者や外部の力も使うなどネットワークを広げながら総合的に判断できる力をつけていきたい。

Q：来年度は CRO の利益はゼロになるという理解でよいか？

A：CRO は実質的にクロア 1 社であったので、来年度からはゼロになると考えている。

以上